

日本共産党
ひめだ高宏ニユウ
 No. 12
 '07.11.14

日本共産党
 市会議員団
08年度予算要切書提出

10月31日(水)日本共産党市会議員団は、北部地区委員会と連名で、大橋市長に、2008年度予算編成にあたっての要望書を提出しました。

市長への重点要望は10項目

市長への重点要望の内容は、次のとおりです。

1. 市長は、引き続き直接市民に会い市民の声を重点施策に生かすようお望みに。また、最近の議会軽視を改められたい。
2. 障害者自立支援法の利益負担を応能負担にもとす

4. 障害者自立支援法の新体系へ移行できない小規模障害者作業所に対して、運営支援の補助金を打ち切ることなく実情に応じた支援を一層強化されたい。
5. 保育料減免の範囲を拡充し、障害児通園施設に第2子が通園している場合、保育所に通う第1子、または第3子に対しては第2子減免、第3子減免を適用されたい。
6. 住宅家賃減免、子ども会補助、大型共同作業場、企業センター補助金など旧同和村事業はまっぴり終結されたい。
7. 国民健康保険が新たにおこなう「特定検診」の検

査項目はこれまでの基本検査と同様に設定し、自己負担額については基本検診よりも軽減されるよう図られたい。また人間ドックは引き続き実施し充実させたい。

8. 青年の雇用確保・拡大のため、職業訓練制度の充

ようか。

労働者から米屋に転身し、民商運動や政治革新の運動の先頭に立って奮闘されました。人には言えない辛いことも多く経験されたことと思います。米屋のほうは息子さんが立派に継がれました。口癖のようにいわれた「政治を変えなアカ」に「こちらの方は」私に任せてください」とまでの大見得はまかせませんが、信念を曲げず志を継いでいきたいものだと、感じました。

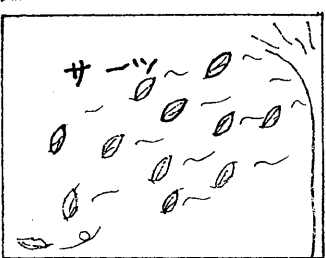
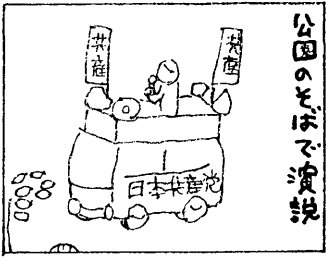
こんにちは
 議員の
ふじい健太郎
 (昭和20)

11日の日曜日、元和歌山民商会長「坂元信一」さんの「偲ぶつどい」に招かれ参加しました。坂元さんが急逝されたのは今年の3月21日、その前日の夜、隣にすわって酒を酌み交わしたのですから驚きでした。政治の世界では一寸先は闇だといわれますが、人の人生もいつどうなるかわかりません。坂元さんは75年の人生でしたが、未練はあっても悔いのない人生を送られたのではないで



ふじい健太郎
 市会議員

フリーの人々
 (555)



実存などを積極的に国、県、企業に働きかけられた。市独自の雇用担当部の体制の充実と雇用創出計画の作成にすみやかに取り組まれない。

9. 後期高齢者医療制度について、国に対して制度を中止・撤回するよう意見を上げられた。また和歌山県広域連合に対して、①高齢者の生活実態にそくした保険料に設定すること、②「資格証明書」を発行した

いこと、③保険料の独自減免制度をつくること、④検診はこれまでどおり希望者全員が受けられるようにすることを示して求められた。

10. 全小学校区での学童保育の実施については、計画どおりに進められた。学校の都合で開設できない場合は、責任を持って体制をつくられた。

12. ホートピア設置計画に反対された。市長の「設置における条件の緩和」は撤回された。

11. 小中学校に空調設備を順次設置された。

13. 民間住宅の耐震改修の補助率、補助金を引き上げるよう県に働きかけられた。また、市独自の上のせ施策を講じられた。

14. 海外視察等の「支度金制度」を廃止された。

16. 北インター千エンジ連設計画は凍結された。市長の退職金を減額された。

15. 紀ノ川大堰計画が当初目的を達成できるよう国・県に働きかけられた。

こどもたちは



日本共産党

です

日本共産党の市田忠義書記局長は、12日、国会内で記者会見し、同日の衆院テロ特別委員会、与党が新テロ特措法案の採決を強行したことに

ついて、「野党が反対を表明しているにもかかわらず、委員長が職権で採決を強行したことに強く抗議する」と述べました。

市田書記局長は、衆院の審議などで、①報復戦争支援法であること、②テロ根絶に逆行すること、③防衛省・自衛隊が疑惑まみれ、④委員会審議の最中に、自

民・民主が審議日程を無視して密室で党首会談をし、恒久法づくりを基本的に合意したこと、4つのことが明らかになると指摘しました。

市田書記局長は今後の論戦について「正論に立ち、これらの問題に正面から論戦をいどみたい」と決意を表明しました。

短歌

勝田 鉄也

浮子入りて竿を上げればがんがんと
叩く手応へ黒鯛なりき
頭から湯気立て怒る看護婦の
肝っ玉母さん病院に欲し

監督 大澤 豊
原作・脚本 池田 太郎
出演 高橋 和也 藤 佳 紀 剛
山本 圭

この草案は、GHQに大きな影響を及ぼして新憲法を映画「日本の青空」は描いています。この映画は、憲法学者鈴木安蔵のヒューマニズムあふれる苦闘の半生を描くことを通して、日本国憲法誕生の真実に迫る作品です。

日時 11月 28日 (水)

上映時間 2時間10分

① 13:30 ~ ② 16:00 ~

③ 18:30 ~

県民文化会館 小ホール

前売券 一般 1300円
中高生 1000円

前売券は各9条の会おは 医師協
まは 私、ひめだまで 会館中